

USER MANUAL

Abbey Road Orchestra: Low Percussion

目次

はじめに	1
ダウンロードとインストール	2
SPITFIRE APPの設定	4
専用プラグイン	5
概観	6
プリセット・セレクト	8
メイン・コントロール	10
テクニック・セレクト	12
テクニック・エディタ	16
シグナル・ミキサー	18
エフェクト	21
トップ・メニュー	22
マイク・シグナル	30
楽器とテクニック	33
付録	42
FAQとトラブルシューティング	42
ドラム・マッピング・ガイド	48
デフォルトのCCマッピング	50

はじめに

新しいフラッグシップ・シリーズの第一弾として、これまでで最も精緻なサンプル・ライブラリをご紹介します。プロの作曲家、プロデューサー、サウンド・デザイナー、ミュージック・エディターのために作られた Abbey Road Orchestraは、オーケストラのすべてのセクションを驚異のディテールでお届けします。これは20年以上にわたるサンプリングの経験と革新の集大成です。

国際的に有名なパーカッショニスト、Joby Burgess (『ブラックパンサー』、『ミッション：インポッシブル』) が演奏し、グラミー賞受賞エンジニア、Simon Rhodes (『スカイフォール』、『アバター』) がエンジニアを務めた本製品は、まったく新しいレベルの表現を提供します。

動作環境

Mac

- macOS 10.15~14
- 最小: 2.8GHz i5 (クアッドコア)、8GB RAM
- 推奨: 2.6GHz i7 (6コア, 2019)、16GB RAM、Apple Silicon
- SSDドライブ推奨

Windows

- Windows 10およびWindows 11 (最新のサービスパック、64ビット)
- 最小: Intel 2.8 GHz i5 (クアッドコア) またはAMD Ryzen 5、8GB RAM
- 推奨: Intel 2.6 GHz i7 (6コア, 2019) またはAMD R7 2700、16GB RAM
- SSDドライブ推奨

- ダウンロードサイズ 95.47GB
- 専用プラグイン (AU, VST2, VST3, AAX)

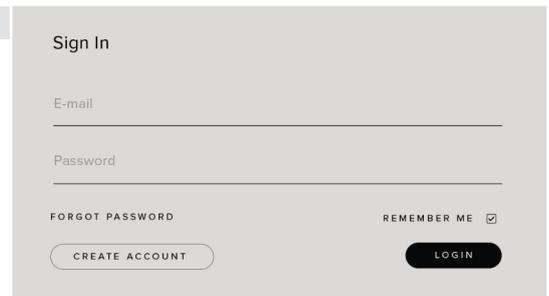
⚠ 最新の対応状況については製品ページをご確認ください。

ダウンロードとインストール

Spitfire Audio Appを[ダウンロード](#)すると、アプリを通じてライブラリをダウンロードできるようになります。

THE SPITFIRE AUDIO APP

アプリを起動して、弊社のWebサイトと同様にログインしてください。



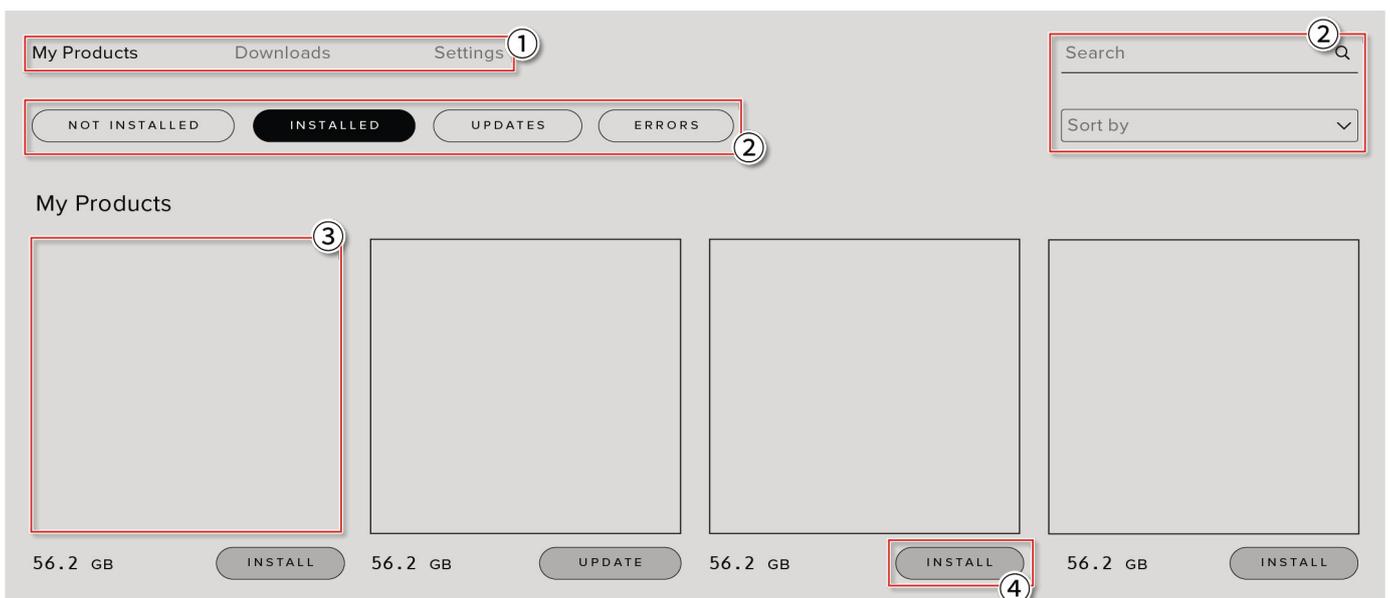
Sign In

E-mail

Password

[FORGOT PASSWORD](#) [REMEMBER ME](#)

[CREATE ACCOUNT](#) [LOGIN](#)



My Products Downloads Settings ①

NOT INSTALLED INSTALLED UPDATES ERRORS ②

Search ②

Sort by

My Products

56.2 GB INSTALL 56.2 GB UPDATE 56.2 GB INSTALL ④ 56.2 GB INSTALL

③

① タブ

デフォルトは**My Products**です。**Downloads**には、ダウンロード中の製品が表示されます。

② フィルタ

フィルタをクリックして、まだインストールされていない製品、インストール済みの製品、利用可能なアップデートが表示されます。再度クリックしてフィルタを解除します。

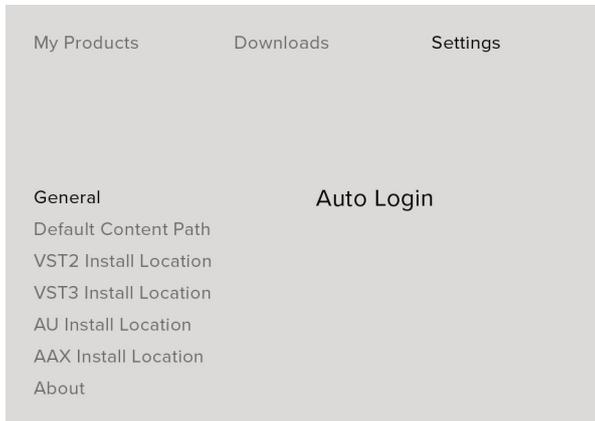
③ ライブラリ

コレクション内のすべてのライブラリとプラグインが、アートワークと共に表示されます。アートワークをクリックすると、製品ページが開きます。システム要件や説明書、リセットや修復オプションなどの情報を見つける際に使用します。

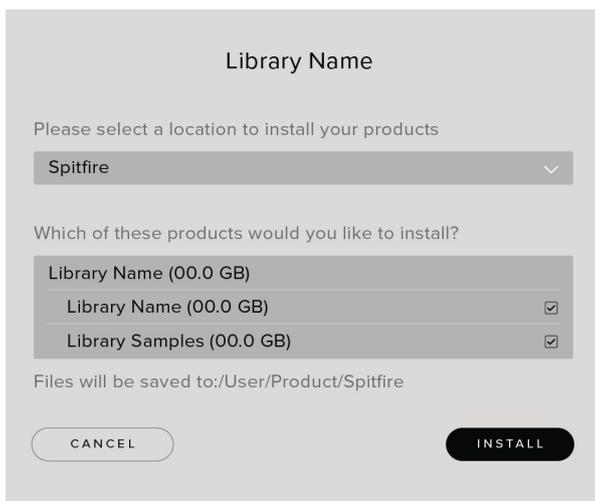
④ [INSTALL]／[UPDATE]

ボタンをクリックすると、ライブラリに移動する代わりに、**My Products**タブから直接ダウンロードを開始できます。ボタンの横には、ダウンロード時のサイズが表示されます。

SPITFIRE APPの設定



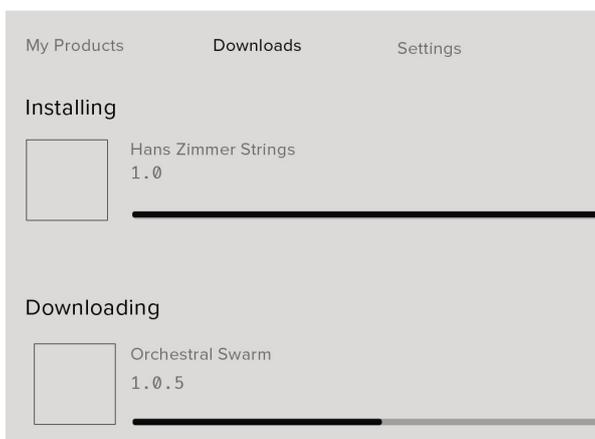
Spitfire Audio Appを初めて利用される場合、まず**Settings**タブを開いてください。ライブラリのダウンロード時のDefault Content (デフォルト・コンテンツ)の場所や、プラグイン (VST2, VST3, AU, AAX) のインストール先を設定できます。**Auto Login**を有効にすると、次回以降のログイン時間が短縮されます。



設定の完了後、[INSTALL]ボタンをクリックします。このボタンは、ライブラリのアートワークの下の**My Products**タブ、または各ライブラリ・ページに表示されます。

クリック後、インストール先を指定します。上述のデフォルト・コンテンツの場所以外に、ここでは任意の場所を指定できます。[HDD Install]選択時にも適切なインストール場所を指定してください。

インストール先が決まったら、[DOWNLOAD]をクリックします。



Downloadsタブが表示されます。他のタブに切り替えて別のダウンロードを開始することもできますが、Spitfire Audio Appは終了しないようにしてください。

専用プラグイン

他の弊社製品とは異なり、Kontakt PlayerやKontaktのフル・バージョンは必要ありません。本製品はVST, AU, AAX用のまったく新しいプラグインです。

- ⚠ これらの動作は各DAWのバージョンやOSまたはソフトウェアの表示言語によって異なる場合があります。詳しくはお持ちのDAWに付属する各マニュアル内の該当ページをご確認ください。

LOGIC PRO X

- 新規トラックのダイアログ・ボックスを開きます。
- [ソフトウェア音源]を選択し、[インストゥルメント]ドロップダウンの下を見てください。
- AU Instruments > Spitfire Audio > Abbey Road Orchestraを選択。

CUBASE

- トラック・ウィンドウを右クリックし、'Add Instrument Track'を選択します。
- [インストゥルメント]ドロップダウンの下のAbbey Road Orchestraを選択。
- Add Trackを選択。

PRO TOOLS

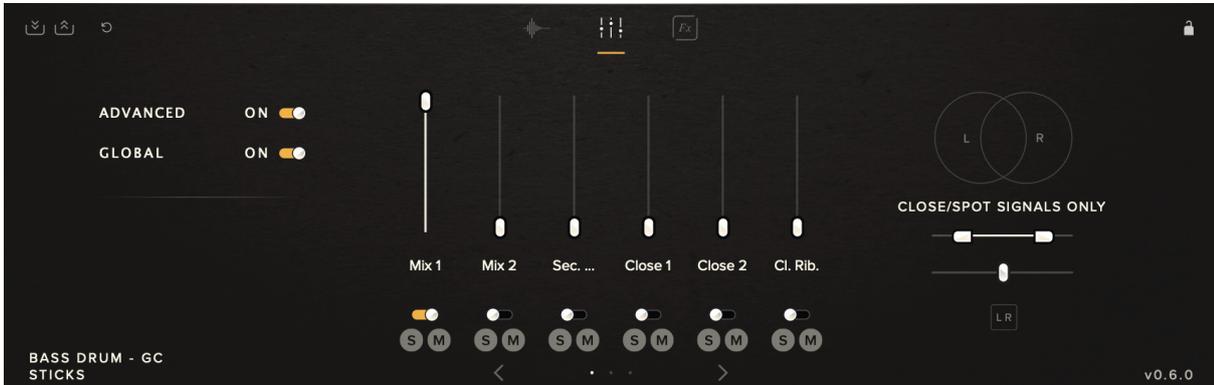
- 画面上部の'Track'メニューから'New'を選択。
- ポップアップでStereoとInstrument Trackを選択し、'Create'を押します。
- 最初のInsertスロットで、マルチチャンネル・プラグインを選択し、'Instrument'を選択。
- Abbey Road Orchestraの選択肢を開けます。

概観

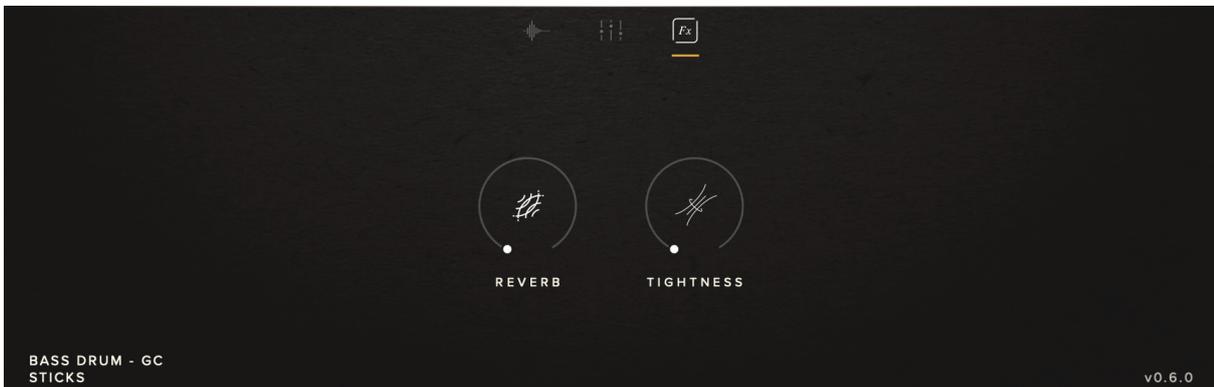


- ① トップ・メニュー
- ② プリセット・セレクト
- ③ メイン・コントロール
- ④ テクニック・セレクト

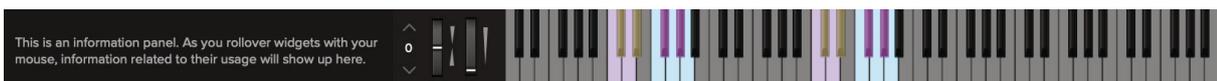
シグナル・ミキサー



コントローラ

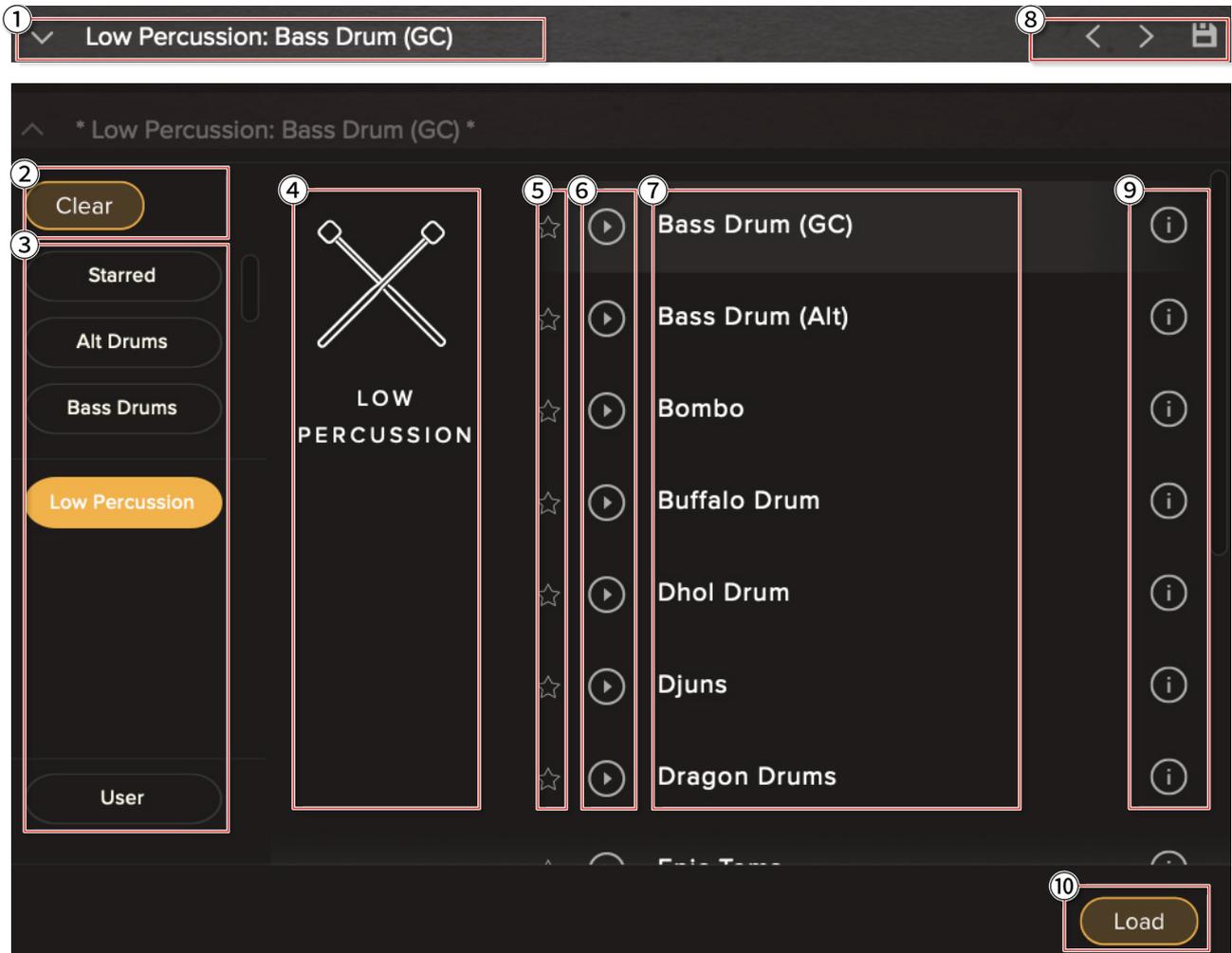


キーボード、INFO (情報)



キーボード上にマウスポインタを置くと、各キーにマッピングされたアーティキュレーションに関する情報が左側に表示されます。例えば、Right/Leftマッピングが有効になっている場合、どちらの手が使用されているかが表示されます。

プリセット・セレクト



① プリセット名

選択中のプリセットを表示。

② フィルタをクリア

すべてのインストゥルメントをまとめて表示。

③ フィルタ

クリックすると、各フィルタでグループ化されたプリセットのみを表示。

④ インストゥルメント・グループ

利用可能なプリセットをスクロールすると、インストゥルメント・グループがここに表示されます。

⑤ お気に入り

☆ボタンを押して、お気に入りとしてフィルタに追加。

⑥ プレビュー

プリセットを読み込むことなく、そのプリセット音色の短い例を再生。

⑦ プリセット・リスト

プリセット・リストをスクロール表示します。プリセットをロードするには、リスト項目をダブルクリックするか、[Load]ボタンをクリック。

⑧ 前、次、保存

プリセット・ビューを折りたたむと、3つのアイコンが表示。

前(<)と次(>)は、単に次の利用可能なプリセットに移動します(フィルタ有効時、フィルタ結果のプリセット・リストをスクロール)。

保存ボタンをクリックし、プリセットに名前を付けると、Userフィルタの下に表示。

⑨ 情報

[i]アイコンにマウスオーバーすると、プリセットの関連情報を表示。

⑩ ロード

プリセットを選択し、ロードする際に押すボタン。

メイン・コントロール



① ボリューム

一般にExpressionと呼ばれるシンプルなレベル・コントロール。

② ダイナミクス

演奏中のダイナミック・レイヤーを調整します。ボリュームと組み合わせて使用すれば、演奏がより音楽的になります。デフォルト設定ではLongにのみ影響を与えます。

③ ノブ

自由に設定可能なノブで、特定のテクニック（奏法）で使用可能な各種パラメーターをコントロールできます。ノブにマウスオーバーすると黒色になります。

④ 機能の割り当て

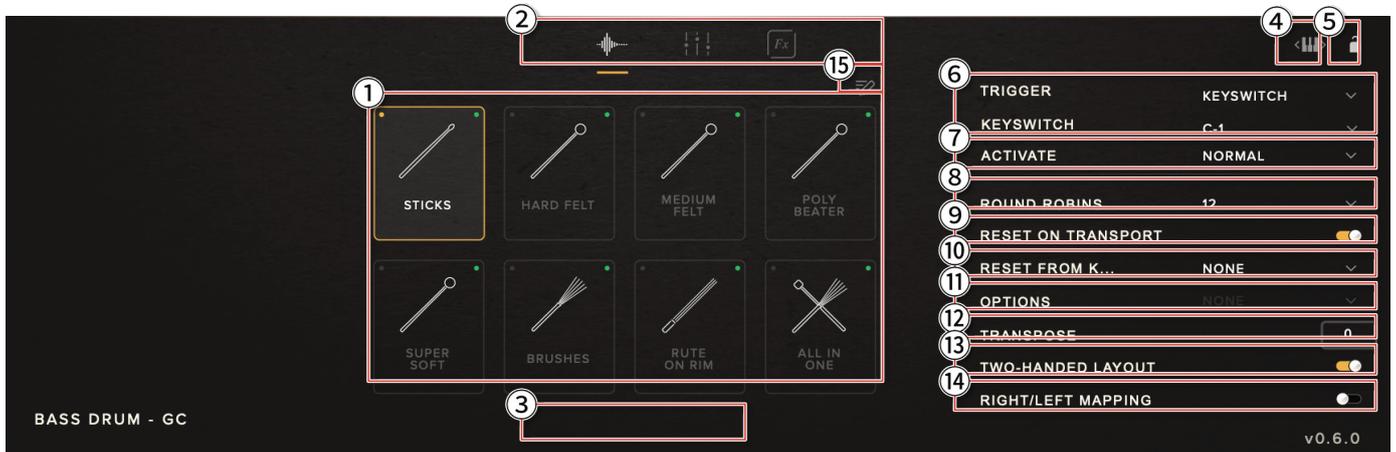
クリックすると、利用可能なコントロールのいずれかをノブに割り当てられます。

REVERB	サウンドに残響を加えます。
TIGHTNESS	<p>このコントロールは、0% の場合、レスポンスがよりシャープになるように、サンプルの開始点をさらにカットします。</p> <p>このコントロールは、打楽器演奏に際してのわずかなタメをなくせるため、DAW に手弾きで録音する際に便利です。録音後、このコントロールを戻し、DAW でネガティブ・ディレイ (負の値のトラック・ディレイ) を使用すれば、リアリティと正確なタイミングとの両立された究極のサウンドが得られます。</p>

これらのコントロールは、右クリックして表示されるメニューから設定することで特定のMIDIコントローラにアサインできます。

- 💡 MIDIコントローラをノブにアサインしたとき、そのMIDIコントローラはノブ自体にアサインされるのではなく、ノブにアサインされたパラメータに紐づけられる点にご注意ください。

テクニック・セレクト



① テクニック・スイッチャー

クリックしてテクニックを選択。Shift+クリックで複数のテクニックを選択できます。左上の赤い点は、再生されるテクニックを示し、アウトラインは、このページ上での他のオプションからの設定変更を示します。

② ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

③ テクニック・ナビゲーション

8つ以上のアーティキュレーションが使用可能な場合に表示されます。右矢印>をクリックして、追加のテクニックにアクセスできます。

④ キースイッチ調整

クリック&ドラッグでキーボードのキースイッチを左右に移動します。

⑤ ロック

テクニック・セクションがロックされ、不要な変更を防ぐことができます。

⑥ テクニック・トリガー

様々なパラメータを使用してテクニックをトリガーできます。

KEYSWITCH	キーボードのキーで各テクニックを選択。選択されたキーは、未選択のテクニックでは緑色、選択されたテクニックではオレンジ色で表示されます。
CC RANGE	コントロールのCCと値の範囲(または単一の値)でテクニックを選択。
VEL. RANGE	演奏の強さに応じてテクニックを選択。ソフトに演奏するときはロングを、ハードに演奏するときはピチカートをトリガーするとよいでしょう。
MIDI CHANNEL	入力されるMIDIチャンネルに基づいてテクニックを選択。
SPEED	演奏速度に応じてテクニックを選択。特定のテクニックに切り替えるためのノート間の時間間隔を指定してください。
PROGRAM CHANGE	プログラム・チェンジに基づいてテクニックを切り替え。

⑦ アクティブ

テクニックの切り替えを "NORMAL" と "LATCH" で切り替えます。

NORMAL	次のキースイッチが押されるまで、そのアーティキュレーションを維持。
LATCH	キースイッチのキーを押している間だけ、そのアーティキュレーションを維持。

⑧ ラウンドロビン

繰り返されるノートが機械的で不自然に聞こえないようにする手法。同じノートを演奏するたびに、同じ音程、同じアーティキュレーションの別のサンプルが順番に鳴ります。ここでは、そのバリエーション数を調整できます。

⑨ トランスポートでリセット

DAWのトランスポートの再生ボタンを押すたびに、ラウンドロビンのバリエーションがリセットされるようになり、毎回同じ再生結果が得られるようになります。

⑩ キーからリセット

キースイッチを使ってラウンドロビンをリセットできます。ここではそのキースイッチを選択。

⑪ ラウンドロビン・オプション

本製品では使用されません。

⑫ トランスポーズ

1半音単位で上下にトランスポーズします。

⑬ 両手レイアウト

有効にすると、キーボードの2オクターブ上にドラム・マッピングの複製が配置されます。

⚠ All in Oneテクニックでは、キーボードのスペースの都合上、無効になっています。

⑭ 左右マッピング

1音ずつ離れて複製されるシングルヒット・キーに適用されます。

キーボード上のマッピングが、左右の手の演奏に合わせて変化します。例えば、C1は左手のサンプルのみ、D1は右手のサンプルのみとなります。機能を有効にすると、視覚的なインジケータとして、右手キーのカラーがキーボード上では変化します。

機能を無効にすると、シングルヒット・キーは通常の2本指でのマッピングの状態で作動します。例えば、C1とD1を交互に弾くと(順番は問いません)、そのテクニックのラウンドロビンが循環し、常に左右交互にサンプルを呼び出します。

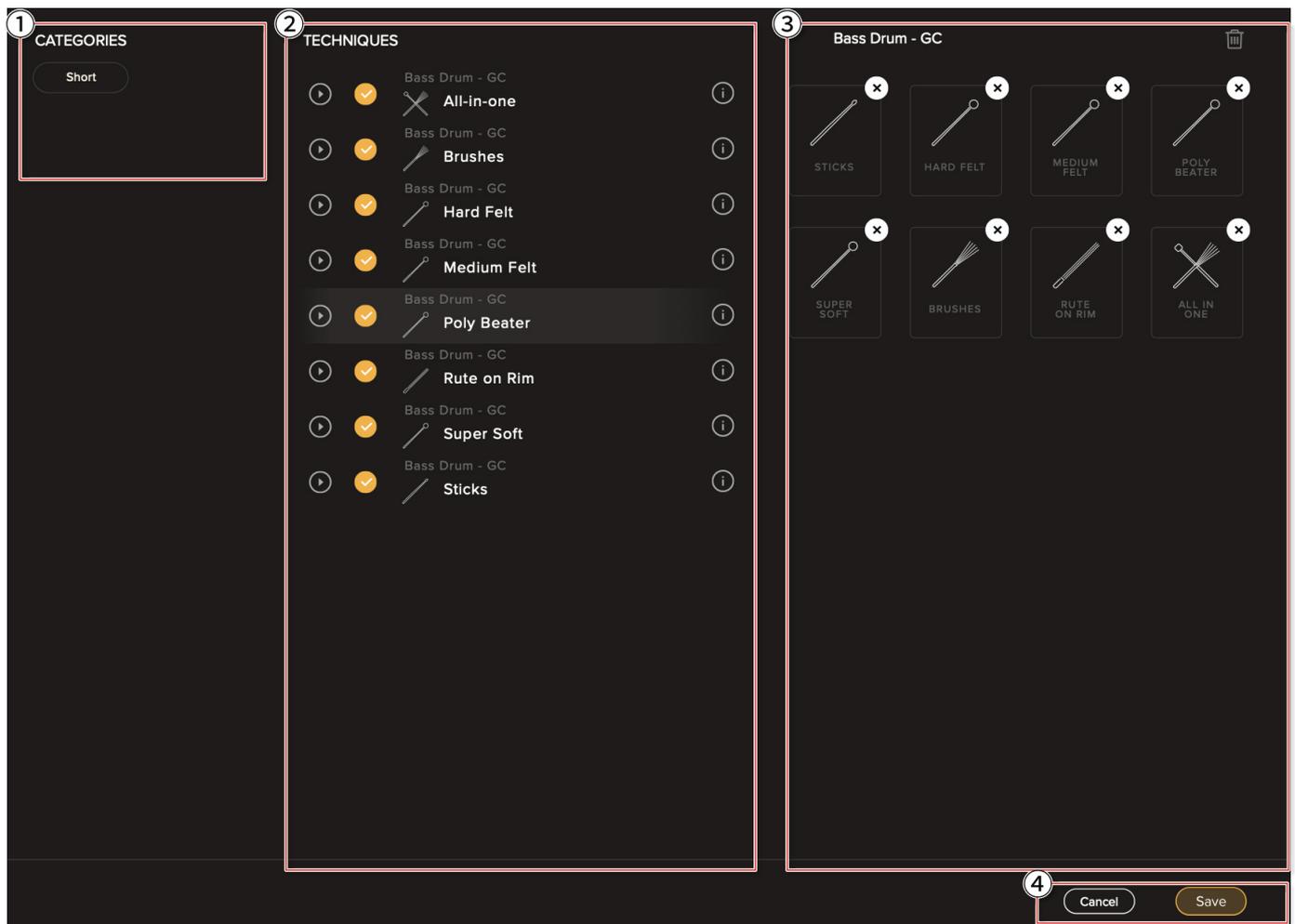
⚠ 本製品内のテクニックの一般的なマッピング・レイアウトは該当項をご覧ください。

⑮ テクニック・エディタ

テクニック・エディタを開き、プリセットのカスタマイズや編集を行います。

テクニック・エディタ

ここでは、現在のプリセットからテクニックを削除したり並べ替えたりできます。



① カテゴリー

特定のプリセットで利用可能なすべてのテクニックをフィルタリングできます。

② テクニック

各プリセットで利用可能なすべてのテクニックが表示されます。[+]をクリックすると、現在のプリセットにテクニックを追加できます。

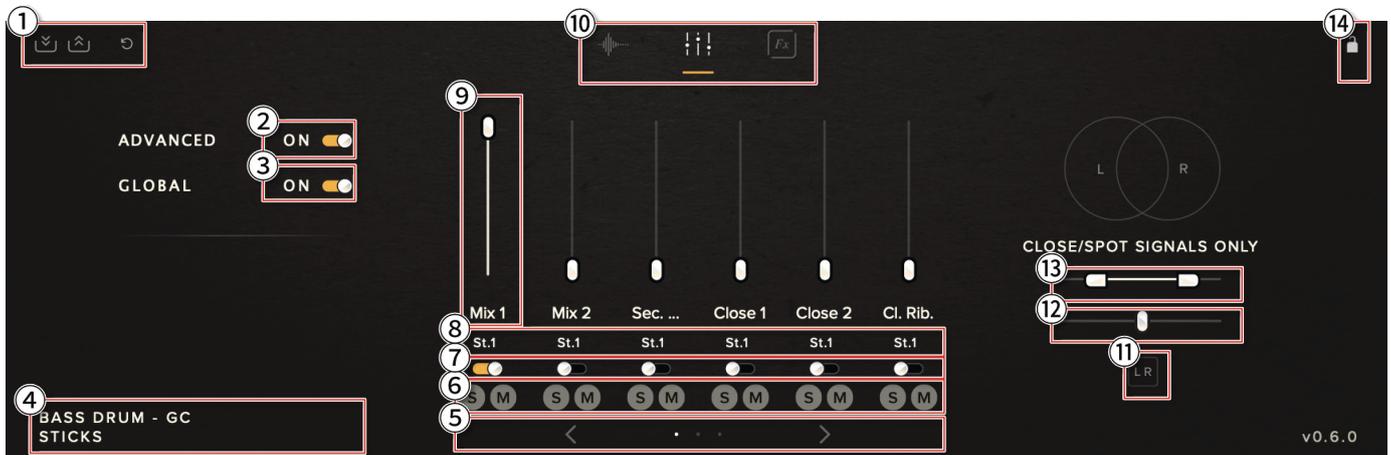
③ テクニック・アレンジャー

現在のアーティキュレーションが表示されます。クリックしてドラッグすると、クリック&ドラッグで順番を並べ替えできます。右上隅の[×]をクリックしてプリセットからテクニックを削除、上のゴミ箱アイコンをクリックしてすべての奏法を完全に削除します。

④ キャンセル／保存

編集が完了したら[Save] (保存) をクリックします。保存したくないときは[Cancel] (キャンセル) を選択すると、元の設定に戻ります。

シグナル・ミキサー



① ミキサー・プリセット

異なるインストゥルメントやプリセット間でミックス設定を共有する際に便利です。☑️をクリックすると保存され、Ⓜ️をクリックするとロードされます。

プリセットの名称変更、削除を行うには、OSごとのファイル・システム上で Abbey Road Orchestra > Presets > Mixとフォルダに移動し、mpresetファイルを編集します。

② 詳細設定

③ グローバル

ミキサーに加えた変更が、プリセット内のすべてのテクニックに反映されます。Offにすると、ミキサーへの変更は選択したテクニックのみに影響します。

④ テクニック名

⑤ シグナル・ナビゲーション

左右矢印<>をクリックして追加シグナルにアクセスできます。未使用のシグナルは灰色で表示されます。

⑥ ソロ／ミュート

[S] (ソロ) をクリックすると、そのシグナルのみが再生されます。複数のシグナルの[S]をクリックすると、複数のシグナルを分離して聞くことができます。

[M] (ミュート) をクリックすると、そのシグナルを消音します。複数のシグナルの[M]をクリックすると、複数のシグナルを消音します。

- [S]をShift+クリックすると、複数のチャンネルをソロにすることができます。
- [S]や[M]をAlt/option+クリックするとすべてのソロまたはミュートが解除されます。
 - 💡 これらの動作は、Solo Latch (ソロ・ラッチ ; 後述) を使用して変更できます。
- Ctrl/command+クリックで、レベルを100%にスナップします (そしてシグナルをオンにします) 。

⑦ シグナルのOn/Off

ここでシグナルのOn/Offを切り替えます (フェーダーを上げることでOnになります) 。シグナルをOnにした場合、完全に有効になるまで時間差がありますので、インターフェース左上のLED を注視してください。

⑧ マルチ出力

アクティブな状態でシグナル・フェーダーの下をクリックすると、そのシグナルを別のステレオ出力にアサインできます。DAW でのミキシング時における自由度が向上します。

⑨ シグナル・フェーダー

ここで各シグナルのレベルを調整します。右クリックでMIDIランできます。

⑩ ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

⑪ 左右チャンネルの反転

左右のチャンネルを入れ替えます。

⑫ パン

ステレオ・フィールド内での近接シグナルの位置を調整します。

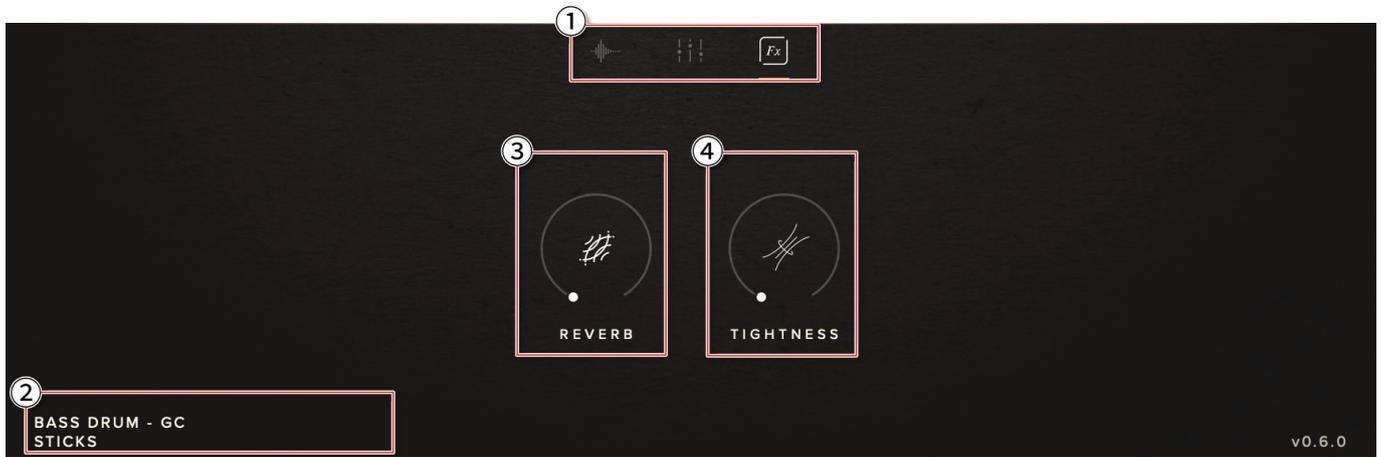
⑬ ステレオ幅

近接シグナルのステレオ幅を調整します。右クリックでMIDIランできます。

⑭ ロック

ミキサーをロックし、ミキサーへの変更を禁止します。MIDIコントローラによる変更も防げますが、ミキサーのロックを解除するとすぐにコントロールがアクティブになってしまうのでご注意ください。

エフェクト



① ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

② テクニック名

③ リバーブ

サウンドにリバーブを追加します。

④ タイトネス

0%の場合、レスポンスがよりシャープになるように、サンプルの開始点をさらにカットします。

このコントロールは、打楽器演奏に際してのわずかなタメをなくせるため、DAWに手弾きで録音する際に便利です。録音後、このコントロールを戻し、DAWでネガティブ・ディレイ(負の値のトラック・ディレイ)を使用すれば、リアリティと正確なタイミングとの両立された究極のサウンドが得られます。

トップ・メニュー



① LED

インストゥルメントがロードされると緑色に点灯します。

② CPU メーター

CPUに負荷がかかると、メーターの隣が赤くなります。

③ DISKメーター

ドライブへの負荷が100%に近い、または100%を越す場合、高速なドライブの導入をご検討ください。

④ メモリ

使用中のRAMの容量を表示します。プリセットのロード時、メモリにロードされているインストゥルメントを表示します。

⑤ ボイス数

使用されている発音数を表示します。

⑥ リフレッシュ

インストゥルメントをリフレッシュします。Alt/option+クリックでプラグイン全体をリフレッシュします。MIDI ノートがハングアップしていたり、システム内のサンプルを移動した際に使用してください。

⑦ モード切替

COREとPROの両方のバージョンをインストールしている場合にのみ使用できます。製品を切り替えるには、ここをクリックしてください。

⑧ MIDIチャンネル

インストゥルメントを制御するMIDIチャンネルを設定します。anyを選択すると、インストゥルメントはすべてのMIDIメッセージに反応します。

⑨ チューニング

ノブを動かして0.01半音単位でチューニングできます。Ctrl/command+クリックするとデフォルトに戻ります。

⑩ パン

ステレオ・フィールドで出力シグナル全体を左右にパンします。Ctrl/command+クリックするとリセットされます。

⑪ ボリューム

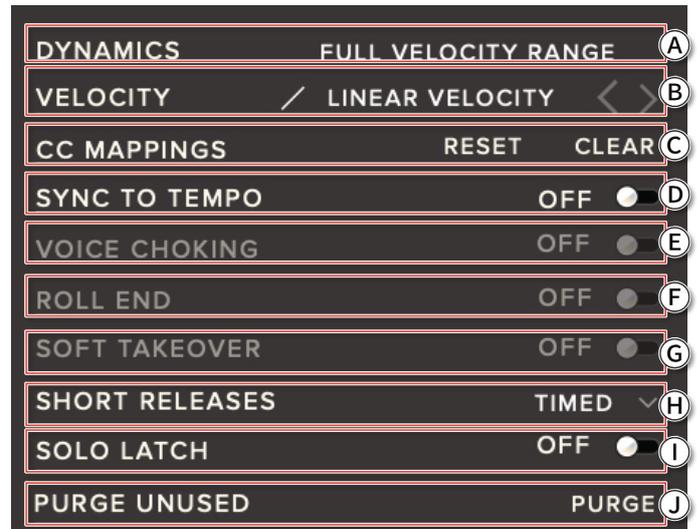
インストゥルメント全体の音量を調節します。

⑫ プリセット設定

① ダイナミクス動作

ダイナミクス・フェーダーの動作を指定。

- FULL VELOCITY RANGE
- VELOCITY MAPPED TO DYNAMICS: ショート・ノートのベロシティをモジュレーション・ホイールでコントロールできます。ソフト・テイクオーバー無効 (⑥項参照)。
- COMPRESSED VELOCITY HIGH, COMPRESSED VELOCITY LOW: ダイナミック・レンジを固定ダイナミック・レイヤーに制限。ソフト・テイクオーバー無効 (⑥項参照)。



② ベロシティ

コントローラのタッチに合わせて4つのベロシティ・カーブから選択。

③ CC マッピング

- [RESET]: 当該インストゥルメントのすべてのCCマッピングがデフォルトに設定。
- [CLEAR]: プラグインのCCマッピングをすべて削除。

④ テンポに同期

本製品では使用されません。

⑤ ボイス・チョーク

パーカッション・ライブラリのみ。エンドヒットをより正確に配置するために、シングルヒットをロールに割り込ませることができます。

Ⓕ ロール・エンド

パーカッション・ライブラリのみ。有効にすると、ナチュラル・エンド・ヒットが記録され、ノートオフ時にトリガーされます。

Ⓖ ソフト・テイクオーバー

パーカッション・ライブラリのみ。

- OFF: ロール／ロングのベロシティはモジュレーション・ホイールによってのみ決定されます。
- ON: ロール・キーがベロシティに反応するようになります (キーがどれだけ強く押されたか、または弱く押されたかがダイナミクスを決定します)。

ユーザーがロールのキースイッチでトリガーしたベロシティ・レベルまでスクロールした段階で、モジュレーション・ホイールがアクティブになります。

この機能を使用する場合、プリセット設定のDynamics設定はFull Velocity Range (デフォルトの状態) に設定する必要があります (Ⓐ項参照)。

Ⓗ ショート・リリース

本製品では使用されません。

Ⓘ ソロ・ラッチ

- ON: ミキサーの複数チャンネルのソロ・ボタンを併用可能。
- OFF: ソロ・ボタンは単一チャンネルのみで機能。

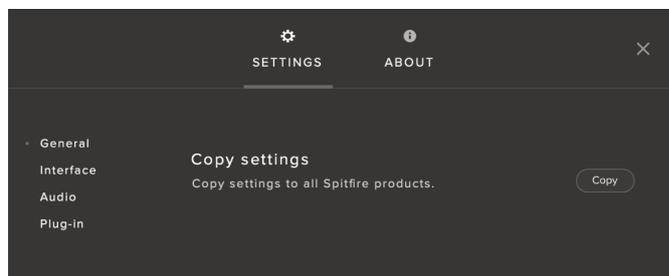
Ⓙ 不使用サンプルをページ

ECO MODE のアクティブ状態を表示。

⑬ プラグイン設定

Copy settings (設定のコピー)

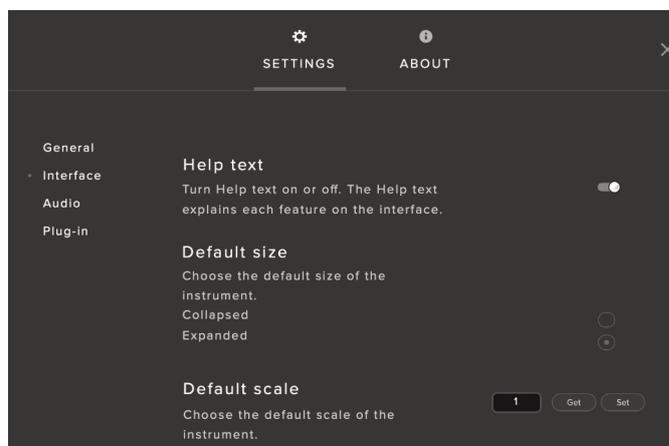
コントローラの共通設定を他のSpitfireプラグインにコピーします。

Help text (ヘルプ・テキスト)

プラグインの左下にパラメータ情報を表示します。

Default size (デフォルト・サイズ)

インストゥルメントがデフォルトで折りたたまれた状態で開くか、展開された状態で開くかを設定します。

Default scale (デフォルト・スケール)

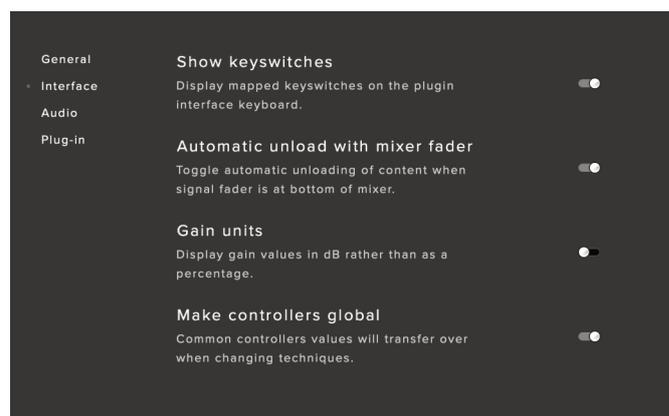
プラグインUIを開いたときの大きさ。[Get]を押して現在のスケールを設定するか、値をタイプしてから[Set]と[Save]を押してください。

Show keyswitches (キースイッチ表示)

有効にすると、複数のテクニックを持つプリセットは、利用可能なキースイッチを赤で、選択中のテクニックを黄色で表示します。

Automatic unload with mixer fader (ミキサー・フェーダーでアンロード)

フェーダーを完全に下げた時に、RAMからデータをアンロードするようになります。



Gain units (ゲイン単位)

ゲインをパーセントではなくdBで表示できます。

Make controllers global (コントロールをグローバルに)

テクニックを切り替えてもコントローラの共通値を保持します。

Disable host automation (ホスト・オートメーション無効)

DAWからのホスト・オートメーションの有効／無効を切り替えます。

Change knob drag type (ノブのドラッグ・タイプを変更)

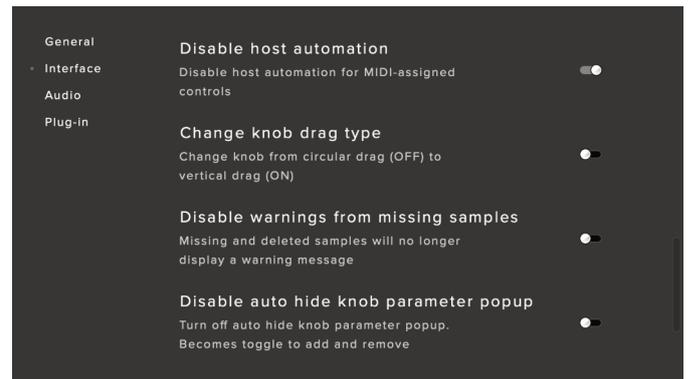
ノブをドラッグ操作するときのマウスの動作を変更します。

Disable warning from missing samples (サンプルの欠落による警告の無効化)

ライブラリのコンテンツが欠落している場合に表示されるプラグイン左上のエラーを非表示にします。

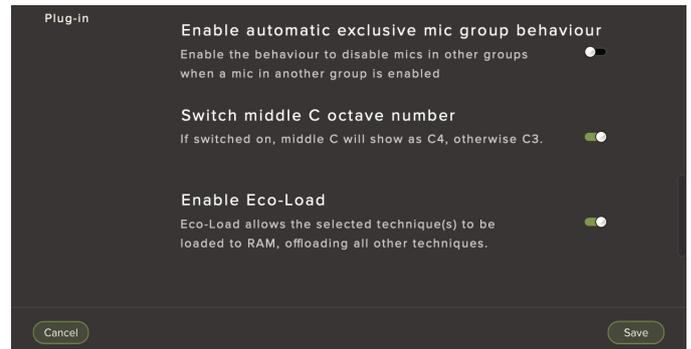
Disable auto hide knob parameter popup (ノブのパラメーター・ポップアップの自動非表示)

有効の場合、ノブをクリックすると常にコントロールメニューが表示されます。



Enable automatic exclusive mic group behaviour (マイク・グループの自動排他動作を有効化)

マイクのグループ化を解除したい場合は無効にしてください。例えば、AMBIENTマイクを有効にすると、MIXシグナルは無効になります。



Switch middle C octave number (ミドルCのオクターブ・ナンバーを切り替え)

ミドルCの値をC3とC4の間で変更します。異なるMIDI規格を使用するDAWで、キースイッチの表示を合致させる際に使用してください。

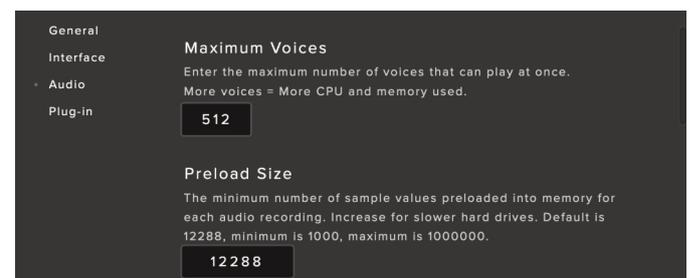
Enable Eco-Load (エコロード有効)

有効にすると、選択したテクニックのみがRAMにロードされます。キースイッチや新しいアーティキュレーションを選択すると、これもRAMにロードされます。

トップ・メニューのリフレッシュ・アイコン  を押すと、メモリ使用量の表示は現在選択されているテクニックにリセットされます。

Maximum Voices (最大ボイス数)

一度に演奏できるボイスの最大数を入力。発音数が多いほどCPUとメモリの使用量が増えます。

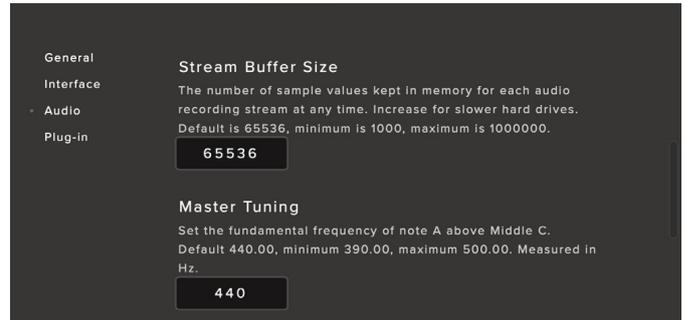


Preload Size (プリロード・サイズ)

各オーディオ録音のためにメモリにプリロードされるサンプル値の最小数です。ディスク・ドライブが遅い場合は値を増やしてください。デフォルトは12288です。

Stream Buffer Size (ストリーム・バッファ・サイズ)

各オーディオ録音ストリーム(サンプル)がメモリに保持されるサンプル値の数。低速のディスク・ドライブでは値を大きくしてください。

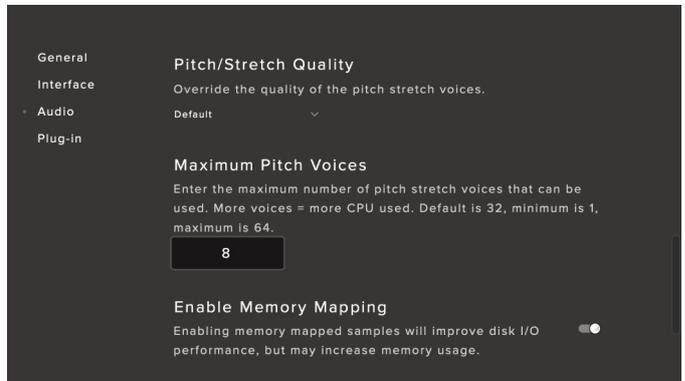


Master Tuning (マスター・チューニング)

プラグインのデフォルト・チューニングを変更します。例えば、A = 440HzまたはA = 432Hz。

Pitch/Stretch Quality (ピッチ/ストレッチ・クオリティ)

デフォルトのピッチ/タイム・クオリティを調整して、パフォーマンスを向上させたり、オーディオ・クオリティを改善することができます。使用するライブラリによっては非対応です。



Maximum Pitch Voices (最大ピッチ音色)

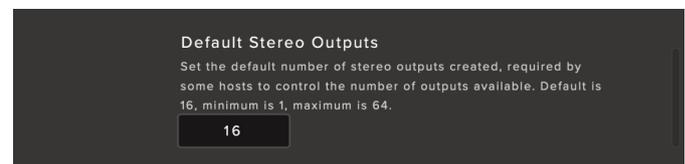
一度にトリガーされるボイス数を制限します。値が低いほどCPUの負荷を軽減します。

Enable Memory Mapping (メモリ・マッピングの有効化)

Windowsマシンではオフにするとパフォーマンスが向上します。

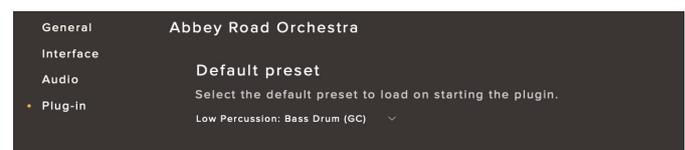
Default Stereo Outputs (デフォルト・ステレオ出力)

マイク・ルーティングのデフォルトの出力数。



Default preset (デフォルト・プリセット)

プリセット名をクリックし、リストからお好みのプリセットを選択してください。



マイク・シグナル

MIX 1

OVERHEAD, OUTRIGGER 1、および厳選されたスポット・マイクのブレンド。

MIX 2

TREE 2、MIDS、OUTRIGGERS 2にスポット・マイクをブレンドしたタイトなミックス。

SECTION OVERHEAD

オーケストラ・セクションの頭上に設置された大口径コンデンサー・マイクロホンで、楽器の音を明瞭に捉えます。

CLOSE 1

音源位置に近いスポット・マイクのブレンド。すべてのCLOSEとSECTION OVERHEADのバランスを試し、好みの近接サウンドを実現します。

CLOSE 2

音源にボディを加えるスポット・マイクのブレンド。すべてのCLOSEとSECTION OVERHEADのバランスを試し、好みの近接サウンドを実現します。

CLOSE RIBBONS

丸みがあり、精細なイメージを捉える近接リボン・マイクのペア。すべてのCLOSEとSECTION OVERHEADのバランスを試し、好みの近接サウンドを実現します。

TREE 1

Abbey Road最高のトリオ、クラシックな無指向性真空管マイクで構成されたデッカツリー。ミックスの出発点としてよく使われます。

TREE 2

より指向性の強いパターンを持つマイクで形成された、よりタイトで近接気味のデッカ・ツリーで、より速く、より繊細な素材に適しています。

OUTRIGGERS 1

いずれかのTREEと併用して広いイメージを得るためのペア。無指向性マイクを使用し、スタジオの全幅を再現。

OUTRIGGERS 2

いずれかのTREEと併用して広いイメージを得るためのペア。より指向性のあるパターンのマイクを使用し、部屋の縁を際立たせます。

MIDS

TREEとOUTRIGGERSと組み合わせることで音にさらなるフォーカスを加えます。

AMBIENTS

部屋の後方に配置された無指向性の小型ダイアフラム・マイクのペア。自然なアンビエンスを収録。

VINTAGE 1

1940年代のオリジナルRM1Bリボン・マイクのペアを指揮者の前に配置。ビンテージなスコアリング・ステージ・サウンドを生成。

VINTAGE 2

クラシックな44BXリボン・マイクのペアを指揮者のそばに配置。別バージョンのビンテージ・スコアリング・ステージ・サウンドを生成。

POP CLOSE

オーケストラ・レイアウトにとらわれないフレキシブルなイメージを与えるため、中央にパンされた近接マイクのミックス。

SPILL

演奏されていないセクションのスポット・マイクを合計したもので、臨場感を出すのに便利です。

楽器とテクニック

GRAN CASSA (BASS DRUM GC)

オーケストラの定番、36"のグラン・カッサは、深く響くサスティーンと大きなダイナミック・レンジを持つダブルヘッドのコンサート・バスドラムです。

Sticks

木製のスティックでヒットやロールを行い、硬く反応の早いアタックやパワフルな音色を生み出します。

Hard Felt

ハード・フェルトのマレットで叩くヒットやロール。

Medium Felt

ミディアム・フェルトのマレットで叩くヒットやロール。弱いアタックながら明瞭な低音が得られます。

Poly Beater

プラスチック／ポリ・ビーターでのヒットとロール。低域の情報を抑えた細いサウンドを生み出します。

Super Soft

スーパー・ソフトなビーターでのヒットやロール。まろやかなアタックとブーミーな響きが得られます。

Brushes

細い金属ブラシでヒット、スイープ、スワール。繊細な音色が得られます。

Rute on Rim

木製のルーテ（ロッド）でドラムのリムを叩いたヒットとロール。

All in One

使用可能なすべてのビーターとテクニックを、キーボード全体に表示します。

BASS DRUM (ALT)

浅めのオープン・シェルに32"ヘッドのビンテージ・バス・ドラム。明確なアタック、ウッディな倍音、バランスの取れた響きを兼ね備えています。

Sticks

木製のスティックでのヒットやロール。硬く反応の早いアタックやパワフルな音色を生み出します。

Hard Felt

ハード・フェルトのマレットで叩くヒットやロール。

Hard Felt Damped

ハード・フェルトのマレット、さらにドラム・ヘッドに布をかぶせたヒット、ロール。

Medium Felt

ミディアム・フェルトのマレットで叩くヒットやロール。弱いアタックながら明瞭な低音が得られます。

Brushes

細い金属ブラシでヒット、スイープ、スワール。繊細な音色が得られます。

Rods

木製のロッドでのヒットやロール。共鳴を抑えたくっきりしたサウンドを生み出します。

All in One

使用可能なすべてのビーターとテクニックを、キーボード全体に表示します。

GONG BASS DRUM

このゴング・ドラムはシングル・オーバーサイズのヘッドで構成されており、速いアタックとパンチの効いたロー・エンドを持つ、非常にファットで「モダン」なサウンドを生み出します。

Hard Felt

ハード・フェルトのマレットでのヒットとロール。強いアタックを生み出します。

Soft Felt

ソフト・フェルトのマレットでのヒットとロール。丸みのあるアタックを生み出します。

Puili

竹製のプイリ・スティックを使ったヒットとロール。きめ細かくピッチの高いアタック感とタイトな響きを生み出します。

All in One

使用可能なすべてのビーターとテクニックを、キーボード全体に表示します。

TAIKO

サイアムオーク無垢材を使用した太鼓で、インパクトのあるリズムを生み出します。

Taiko Sticks (バチ)

鼓面を伝統的な太鼓のバチで叩いたもの。

Hard Felt

ハード・フェルトのマレットでのヒットとロール。伝統的太鼓サウンドのバリエーション。

Medium Felt

ミディアム・フェルトのマレットでのヒットとロール。少し柔らかなアタック感。

Brushes

ブラシでのヒット、ロール、スウィープ、スワール。繊細な音色が得られます。

Hands

鼓面を手で叩いたもの。

All In One (Low)

低音部の太鼓で使用可能なすべてのビーターとテクニックを、キーボード全体に表示します。

All In One (High)

低音部の太鼓で使用可能なすべてのビーターとテクニックを、キーボード全体に表示します。

GIANT TAIKO

直径60"の巨大な太鼓は、轟くような低音と複雑なサステーンを生み出します。

High All In One

高音域の太鼓で使用可能なすべてのビーターとテクニックを、キーボード全体に表示します。

Taiko Sticks

鼓面を伝統的な太鼓のバチで叩いたもの。ハードなアタックを生み出します。

Taiko Sticks (Damped)

太鼓の逆側の面を毛布で覆い、響きを抑えてバチで叩いたもの。

Medium Felt

フェルトのマレットでのヒットとロール。伝統的な太鼓の音の変則版。

Medium Felt (Damped)

太鼓の逆側の面を毛布で覆い、響きを抑えてマレットで叩いたもの。

Hands

鼓面をこぶしで叩いたもの。よりソフトなアタックとダークな音色を生み出します。

All In One

大太鼓で使用可能なすべてのビーターとテクニックを、キーボード全体に表示します。

TOMS

ビンテージの銀製シングルヘッドのタムで、澄んだ響きを持ち、緩急のあるパッセージを得意とします。

Sticks

木製のスティックでのヒットやロール。硬く反応の早いアタックやパワフルな音色を生み出します。

Sticks on Rim

リムにスティックを当てやヒットやロール。小突いたような音。

Sticks (Damped)

木製のスティックと茶巾をドラム・ヘッドにかぶせ、ミュートしたヒットやロール。

Hard Felt

ハード・フェルトのマレットで叩いたもの。強いアタックとバランスの取れた音色を出します。

Rods

木製のロッドで叩いたヒットやロール。

Brushes

密度の高いナイロン・ブラシを使用したヒットやロール。

All in One (Low)

低音部のタムで使用可能なすべてのビーターとテクニックを、キーボード全体に表示します。

All in One (High)

低音部のタムで使用可能なすべてのビーターとテクニックを、キーボード全体に表示します。

EPIC TOM

対面に配置された1組のフロア・タム。タイトでパワフルなアタックと、はじけるようなハードな音色が特徴。

Taiko Sticks

ハードなアタックと強調されたトップ・エンドを生み出す、太鼓のバチによるヒットとロール。

Taiko Sticks (Damped)

ヘッドに獣皮をかぶせ、ミュートしたような音色。

Rods

木製のロッドによるヒットとロール。響きを抑えつつ、くっきりとしたサウンドが得られます。

All in One

使用可能なすべてのビーターとテクニックを、キーボード全体に表示します。

BOMBO

20"の獣皮のヘッドをロープでチューニングしたアルゼンチンのバス・ドラム。短いサスティンで、低くオーガニックなサウンドが特徴。

Hard Felt

ハード・フェルトのマレットでのヒットとロール。強いアタックを生み出します。

Hard Felt (Damped)

布をドラム・ヘッドにかぶせてミュートし、ハード・フェルトのマレットでヒット、ロール。

Soft Mallet

ソフト・フェルトのマレットでのヒットとロール。丸みのあるアタックを生み出します。

Soft Mallet (Damped)

布をドラム・ヘッドにかぶせてミュートし、ソフト・フェルトのマレットでのヒットとロール。

Sticks (Sides)

木製のスティックでドラムの側面を狙ったヒットとロール。

All in One

使用可能なすべてのビーターとテクニックを、キーボード全体に表示します。

DRAGON DRUMS

中国原産の大太鼓は、力強く個性的な音色と長いサスティーンを生み出します。

Sticks

木製のスティックでのヒットとロール。伝統的な大鼓の音。

Hard Felt

ハード・フェルトのマレットでのヒットとロール。弱めのアタック。

All in One

使用可能なすべてのビーターとテクニックを、キーボード全体に表示します。

DHOL

インド亜大陸の双頭太鼓。それぞれのヘッドを異なるビーターで叩き、特徴的な音色を生み出します。

Dhol Sticks

伝統的な木製のビーターである、ダッガとティリで叩いたシングル・ヒット。

DJUNS

西アフリカで生まれた2本のジュン(またはドウンドウン)は、力強いリズムとバランスの取れたエネルギーな音色を得意とします。

Hard Felt

ハード・フェルトのマレットでのヒットとロール。はっきりしたアタックと、バランスの取れた音色。

BUFFALO DRUM

浅い木製のフレームに22"のバッファロー皮のヘッドを被せており、強力な倍音と豊かなサスティンを持ちます。

Hard Beater

ハード・ビーターによるヒットとロール。くっきりとしたアタックを生み出します。

Soft Beater

ハード・ビーターによるヒットとロール。丸みのあるアタックを生み出します。

All in One

使用可能なすべてのビーターとテクニックを、キーボード全体に表示します。

SURDO

ブラジルの伝統的な楽器で、サンバ音楽の低音リズムを担当します。22"のアルミ製シェルで、張り詰めたサウンドと独特のアタックを生み出します。

Felt Beater

スルドの特徴的なサウンドを生み出すフェルト・ビーターによるヒットとロール。

Hands

ヘッドに手を添えて行うヒットとロール。

All in One

使用可能なすべてのビーターとテクニックを、キーボード全体に表示します。

付録

FAQとトラブルシューティング

Q: システム要件は何ですか？

⚠ 最新の対応状況については製品ページをご確認ください。

Q: プラグインの設定をデフォルトに戻したいのですが。

以下のディレクトリにある.settingsファイルを削除して、設定をデフォルトにリセットできます。

Mac

Users/<ユーザー名>/Music/Spitfire Audio

Windows

C:¥Users¥<user>¥name¥AppData¥Roaming¥Spitfire Audio

Q: プリセットのリストが空です。

ライブラリ・フォルダを移動した場合、Spitfire Audio Appの**Locate Library**機能を使用することで解決できます。ライブラリの再認証が必要な場合、Spitfire Audio Appの**Repair**機能を使用してください。

Q: ライブラリ左上に赤い感嘆符 (!) が表示されています。

感嘆符をクリックすると詳細なログが表示されます。Spitfire Audio Appの**Repair**と**Locate Library**機能を使用して問題が解決する可能性があります。解決しない場合は、spitfireaudio.com/supportのサポートチーム (英語) までご連絡いただき、ログを添付してください。

Q: 複数台のコンピューターへのインストール。

弊社製品には2つのライセンスがあり、メインとモバイルの2台のコンピューターにダウンロード、インストールできます。ライブラリをハード・ドライブで購入された場合、Spitfire Audio Appでダウンロードを完了する前に、ドライブの内容をインストール先のマシンにコピーしてください。ライブラリをダウンロードした場合は、ライブラリ・フォルダを2台目のマシンにコピーし、Spitfire Audio Appの**Repair**と**Locate Library**機能を使用してください。

Q: Kontaktのサイド・パネルにライブラリが表示されない。

Spitfire Audio独自のアプリ (スタンドアローン、プラグイン) は、KontaktやNative Access上で表示されません。

Q: インターネットに接続されていないマシンでのライブラリ認証。

インターネットに接続されていないマシンでは当該ライブラリを認証できません。認証はインターネット接続されたマシン上でSpitfire Audio Appを通じて行います。

Q: 製品の再ダウンロード方法。

Spitfire Audio Appから行えます。ライブラリ全体のダウンロード、または最新のアップデートの両方をリセットする方法は次の通りです。

- Spitfire Audio Appを開き、アカウントのメール・アドレスとパスワードでログイン。
- 再ダウンロードしたい製品アートワークを選択。
- このページの歯車アイコン  から **Reset** を選択し、 **Reset Entire Download** (フルダウンロードの場合) または **Latest Update** を選択。

これで最新のアップデートがリセットされ、再度インストールできるようになります。所有するすべてのライブラリについて、このプロセスを繰り返せます。

一定時間内にダウンロードをリセットできる回数には制限があります。リセットの制限を超えた場合は、ご連絡ください。

Q: ダウンロード／インストールの問題

ダウンロードの過程で問題が発生する場合があります。その場合、以下をご確認ください。

- ドライブのフォーマットがFAT32の場合、4GB以上のファイル・サイズは制限されているため、弊社の大きなダウンロード・ファイルがエラーの原因となります。ドライブを再フォーマットするか、別のドライブを使用してください。PCではNTFS、MacではMac OS Extendedをお勧めします。
- 私たちのライブラリが非常に大きなファイルであるため、Spitfire Audio Appが圧縮ファイルの展開やドライブへの配置を行うにあたり長い時間を要することがあります。クラッシュしたのか、ファイルの処理中かが判断しきれない場合は、インストール開始時に選択したインストール・フォルダにアクセスしてください。すべてが正常に動作している場合は、フォルダ(またはそのサブフォルダの1つ)にさまざまなファイルが表示されます。
- もしダウンロードが止まってしまったり、中断したまま再開されない場合は、spitfireaudio.com/supportのサポートチーム(英語)まで、お使いのオペレーティング・システム、お住まいの国、自宅か職場か、お使いのISP、お使いのコンピュータとインターネットの間にプロキシ・サーバーやファイアウォールがあるかどうかを合わせてお知らせください。

Q: ダウンロード速度について

私たちのライブラリはAmazon S3サーバーでホストされており、通常は非常に高速ですが、トラフィックが特に混雑する特定の時間帯に、ISPが接続速度を制限する可能性があります。

混雑の少ない時間帯にダウンロードを実行したままにしておくと十分なダウンロード速度を期待できます。Spitfire Audio Appのダウンローダーは可能な限り帯域幅を使用し、最速の速度を提供することを目的としており、ピークに達するまでに数分かかる場合があります。

Q: 購入前のデモについて

現在、製品のデモは提供していません。

私たちのYouTubeチャンネルにアクセスすると、私たちのすべての製品に関する詳細な情報を含む多くのウォークスルーを見ることができます！

Q: Spitfire Audio Appにライブラリが表示されません

Spitfire Audio Appにログインして、**Installed**にも**Download Ready**にも購入済みの製品が表示されない場合、別のメール・アドレスで購入された可能性があります。過去に購入した他のメール・アドレスを確認すると、見つからない製品が見つかるかもしれません。そうではなく、数年前に購入された製品である場合は、サポート・チケットを作成し、お客様のアカウントのメール・アドレスと、紛失した製品に関連するシリアル番号をお知らせください。また、複数のアカウントを統合して、購入された製品をまとめることも可能です。

より多くの情報があればあるほど、迅速な復旧が可能となります！

Q: 製品のアップデート方法

弊社製品のダウンロードは、Spitfire Audio Appが選択したフォルダにダウンロードされることが大前提です。弊社製品に最適なファイル・パスはシンプルです。ただし長いファイル・パスを指定した場合はエラーの原因となることがあります。サンプル・ドライブ > Spitfire Audioのようなパスが理想です。

またダウンロードやアップデート時、Spitfire Audio配下の実際のフォルダを指定せず、Spitfire Audioフォルダ自体を必ず指定してください。

Q: 最新のアップデートの再ダウンロード方法

Spitfire Audio Appに、ダウンロードをリセットする機能が追加されました。

- Spitfire Audio Appを開き、アカウントのメール・アドレスとパスワードでログイン。
- 再ダウンロードしたい製品アートワークを選択。
- このページの歯車アイコン  から**Reset**を選択し、**Reset Entire Download** (フルダウンロードの場合) または**Latest Update**を選択。

これで最新のアップデートがリセットされ、再度インストールできるようになります。

他のアップデートについても、このプロセスを繰り返すことができます。

Spitfire Audio Appにダウンロードをリセットするオプションが表示されない場合は、spitfireaudio.com/info/library-manager/から最新版のアプリをダウンロードしてください。

Q: ダウンロード・リンクがなかなか送られてこない

当社では、すべての注文はまず不正チェック処理を経由しており、処理に20分ほど要します (ブラック・フライデーなどの繁忙期には1時間ほどかかることもあります)。この段階で注文が引かなかった場合、手動で注文チェックを行うため、注文処理は最大で24時間遅れる場合があります。

ご注文後、すぐに送付される注文確認メールは、お客様のご注文が弊社システムに正常に記録され、お支払いが正常に行われたことを確認するものです。サポートにご連絡いただく前に、迷惑メール・フォルダのご確認もお忘れなく。

Q: 異なるOS間でのデータの転送

はい、ライブラリ・フォルダを2台目のマシンにコピーし、Spitfire Audio App の**Repair**と**Locate Library**機能を使用できます。ダウンロードの大部分は別のマシンで行えますが、認証プロセスを完了するためにはインターネット接続が必要である点にご注意ください。

Q: Mac OSX 10.9でのダウンロード

本製品のインストールに必要なSpitfire Audio Appは、Mac OSX 10.10以降にのみ対応しています。

Q: バグの報告

バグを発見された場合は、関連する情報を添えてご連絡 (英語) ください。

- 見つけたバグの説明
- バグが発生しているスクリーン・キャスト (ビデオ)、またはオーディオの例
- プリセット名やライブラリ名など情報が詳細であるほど、問題の真相を究明するのに役立ちます。

Q: 払い戻し／返品ポリシーについて

ダウンロード／インストール・プロセスを完了しておらず、14日以内に購入された場合は、返金／返品が可能です。まだシリアル番号を登録していない場合であってもインストールを完了された場合、返金と返品をお受けできません (使用許諾契約をご確認ください)。ハードディスク・ドライブのご注文の返金は、ドライブが弊社から発送される時点まで可能です。これは通常、ご注文から数日を要します。

Q: パスワードを忘れてしまいました

パスワードをお忘れの場合は、spitfireaudio.com/my-account/login/の[forgot your password?] (またはこれに該当する日本語表記) をクリックしてください。もし過去に2つ以上のアカウントの統合を依頼したが忘れてしまった場合、統合を依頼されたメール・アドレスでパスワードの再発行が機能しない可能性があります。この場合は、お名前と、弊社が知っていると思われるメールアドレスをサポートまでご連絡ください。

ドラム・マッピング・ガイド

個々のビーター・テクニックには、5つのマッピング・ブロック (BLOCK) があります。

- すべてのテクニックはBLOCK 1を使用
- BLOCK 1~4 (通常は1+2または1+3) の組み合わせを使用するテクニックが大半
- BLOCK 1~5を使用するテクニックは少数。

ブロックはインターバル (音程関係) を一定に保つよう設計されています。つまり、MIDIデータをアクティブなブロックの上下にトランスポーズすることで、同様のテクニックを実現することができます。

ドラムに2つのピッチがある場合 (ボンゴなど)、高い方のドラムが1オクターブ上にミラーリングされます。

本製品には、ドラム・ヒット・キーを左右に分割して記録できる「Right/Left Mapping」という機能があります。この機能を使用すると、1つ目のヒット・キーが左、2つ目のヒット・キーが右となります。2つ目のヒット・キーは常に全音アップします。

ビジュアル・レイアウト

BLOCK 1

C1: Short/Hit Type 1 [Left]
D1: Short/Hit Type 1 [Right]
E1: Long/Roll Type 1

BLOCK 2

C#1: Short/Hit Type 2 [Left]
D#1: Short/Hit Type 2 [Right]

BLOCK 3

F1: Short/Hit Type 3 [Left]
G1: Short/Hit Type 3 [Right]
A1: Long/Roll Type 3

BLOCK 4

F#1: Short/Hit Type 4 [Left]
G#1: Short/Hit Type 4 [Right]
A#1: Long/Roll Type 4

BLOCK 5

B1: Alt Technique/Misc.
C2: Alt Technique/Misc

Right/Left MappingがOffのとき、
ヒット・キーは奏法アクティブだが、ラウンドロビンは単
純にサイクルされる

|-----2nd DRUM REPEAT-----|
ピッチが2つのとき、低/高に分割

|-----TWO HANDED LAYOUT-----|
[Toggle]

例外

1. TOMSパッチは、他のドラムのロールを不意にトリガーすることなく、4つのピッチ（例えばFillタイプのパッセージ）をまたいで演奏しやすいように配置されています。つまり、最初のブロックはC1ではなくF1から始まります。ただし、ヒットとロールのインターバル（音程関係）は他のすべてのドラムと一致しているので、必要に応じてMIDIデータをトランスポートできます。
2. All in Oneでは、鍵盤上で使用可能なすべてのビーターをマッピングします。各ビーターの種類は、同じインターバル関係／ブロックを使用するようにグループ化されていますが、スペースを節約するため、BLOCK 3またはBLOCK 4から始めてもかまいません。

デフォルトのCCマッピング

CC#1	ダイナミクス
CC#7	グローバル・ゲイン
CC#10	グローバル・パン
CC#11	エクスプレッション
CC#17	リリース
CC#19	リバーブ

⚠ お使いのDAWや環境によっては、上記デフォルトのMIDI CC (コンティニューアス・コントローラ) と動作が合致しない場合があります。必要に応じて、環境にあった設定に調整してください。



Abbey Road Orchestra: Low Percussion 日本語マニュアル

2024 ©Crypton Future Media, Inc. 2024/JUL issue
2024 ©Spitfire Audio Holdings Limited All Rights Reserved.

本書の一部またはすべてを、Spitfire Audio Holdings Limited、またその日本総代理店であるクリプトン・フューチャー・メディア株式会社に無断で複写、複製、転載、翻訳する事を禁じます。内容は予告無しに変更される場合があります。本書に記載されている会社名、商品名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

国内販売元: クリプトン・フューチャー・メディア株式会社
ホームページ: <https://www.crypton.co.jp/>